



報道各位

平成30年6月15日

公益財団法人 中曽根康弘世界平和研究所

理事長 佐藤 謙

中曽根康弘世界平和研究所とソウル国際フォーラム、

日韓関係に関する共同宣言「中曽根・李洪九宣言」を公表

イ・ホング

公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所※（会長：中曽根康弘、Nakasone Yasuhiro Peace Institute, NPI）は、本日、韓国のシンクタンク、ソウル国際フォーラム（理事長：李洪九（イ・ホング）元国務総理、The Seoul Forum for International Affairs, SFIA）と共に、日韓共同宣言「日韓共有の5つの価値とビジョンー相互信頼に基づく関係強化ー」（通称：中曽根・李洪九宣言）を公表致しました。

共同宣言の主な内容は、「日本と韓国は、両国で共有する、民主、平和、人権、法の支配、自由、という5つの価値に則り、両国関係を着実に発展させ、北東アジアそして世界の平和と繁栄を希求していく」というものです。（詳細は添付の宣言本文をご参照ください。）

■共同宣言発表に至った背景

今週開催されました米朝首脳会談を受けて、今後我が国と朝鮮半島を取り巻く国際情勢は歴史的に大きく変化する可能性があります。朝鮮戦争、核・ミサイル開発問題、拉致被害者問題など我が国に直結する課題の平和的かつ安定的な完全解決に対しての期待は大きく膨らみます。しかしその一方で、それら諸課題解決の時期や道筋等が具体的に示されているわけではなく、ここに至るまでの過程も関係各国の思惑が複雑に入り組み、短期的にはポジティブな状況とネガティブな状況とが複雑に交錯しながら展開されていく可能性が高いことが予測されることから、不安や懸念を抱く声が大きいこともまた事実です。

日本と韓国は、両国関係の正常化以来、常に諸問題と対峙しながらも、様々な分野で密接な協力関係を築くことを目指して歩んできました。ここまでの道のりもけして平坦であったとは言えません。しかし両国は、長年かけて培った相互信頼関係をベースに、一步一步着実に歩みを進めてきました。だからこそ、短期的な激しい国際情勢変化に一喜一憂するのではなく、きっちりと前を向き共に歩んで行くことが両国には期待されます。地域の平和と安定には、両国の一層の継続的な協力が必要となります。

■共有する5つの価値とビジョン

両国が培ってきた普遍的な5つの価値、すなわち、民主、平和、人権、法の支配、自由の5つの価値は、両国の信頼関係の根底をなす基本的な概念です。そしてこの5つの価値は地域と世界の平和と繁栄を願う両国のビジョンの根底をなす概念でもあります。

当研究所中曾根康弘会長は、内閣総理大臣就任時の最初の訪問国に韓国を選びました。戦前から戦後、そして両国間関係の正常化を経て現在に至るまでの歴史を知る者として、韓国との関係を最重要な二国間関係の一つとして位置付けているからです。またソウル国際フォーラムの李洪九理事長も日本を良く知る学者・政治家として日韓二国間関係を非常に重要視してきました。この度、^{よわい}年齢100歳を迎えた当研究所中曾根康弘会長と、ソウル国際フォーラムの李洪九理事長とがここ東京で会し、この共同宣言を共に発表できたことは、激動の時代の新たな日韓関係を切り拓くものであると考えます。

激しい動きを見せる世界情勢の中で、今回のこの「中曾根・李洪九宣言（なかそね いほんぐ せんげん）」で確認した、5つの価値（民主、平和、人権、法の支配、自由）とビジョン（地域と世界の平和と繁栄を希求する）とが、未来志向の日韓関係を考える上での「ぶれない基点」となりますことを祈念しています。

■註釈：韓国における「理事長」職と「会長」職について

日本の組織体における役職名称では、理事会の統括者を「理事長」、理事会を含む組織体全体の統括者を「会長」としている場合が多く、「会長」職が「理事長」職の上位概念となっている場合が多いですが、韓国では逆に「理事長」職が「会長」職の上位概念となります。

News Release

■本件に関する問合せ先

公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所 担当 白石・後藤・井出

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30森ビル 6階

Tel.03-5404-6651 (代表)

E-メール：tshiraishi98@iips.org goto@iips.org tomoaki.ide@iips.org

※公益財団法人世界平和研究所は、平成30年1月1日より公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所に名称が変更となりました。

日韓共同宣言

日韓共有の5つの価値とビジョン

—相互信頼に基づく関係強化—

■共同宣言

日本と大韓民国は、戦後両国関係を正常化して以来、外交、安全保障、経済、産業、文化、社会など様々な分野で密接な協力関係を築くことをともに目指してきた。その歩みは、永年かけて醸成してきた信頼関係に立脚したものであり、常に未来志向である。我々日本と大韓民国は、民主、平和、人権、法の支配、自由という、両国で共有する5つの価値に則り、両国関係を一層発展させていく。

現在北東アジアでは、急激な情勢変化により新たな状況が生まれようとしている。我々は、この変化により、北東アジアに更なる平和と安定がもたらされ、より発展していくことを歓迎する。北東アジア延いては世界の平和と繁栄がこの5つの価値に則り実現されていくことを希求する。

2018年6月15日

公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所 会長 中曽根康弘

ソウル国際フォーラム 理事長 李 洪九

한일이 공유하는 5가지 가치와 비전

— 상호신뢰에 기반한 관계 강화 —

공동선언

한국과 일본은 2차대전 후 양국관계를 정상화한 이래, 외교 안보, 경제 산업, 문화 사회 등 여러 분야에서 밀접한 협력관계 구축을 지향하면서 함께 걸어왔다. 그 걸음은 오랜 기간 만들어온 신뢰관계에 입각한 것으로서 항상 미래지향적인 것이었다. 우리 한국과 일본은 민주, 평화, 인권, 법의 지배, 자유라는 양국이 공유하는 가치 5원칙에 따라 양국 관계를 일층 발전시켜 나갈 것이다.

현재 동북아에서는 급격한 정세변화에 의해 새로운 상황이 전개되려 하고 있다. 우리는 그 변화에 의해 동북아에 더욱 더 평화와 안정이 깃들고 발전되 나갈 것을 기대하며, 동북아 나아가 세계의 평화와 번영이 우리가 공유한 5원칙에 따라 실현되어 가기를 바라마지 않는다.

2018년 6월 15일

서울국제포럼 이사장 이 흥 구

공익재단법인 나카소네야스히로세계평화연구소 회장 나카소네 야스히로

Japan-Korea Joint Declaration

Shared Five Values and a Common Vision

- Strengthening the Relationship based on Mutual Trust -

■ Joint Declaration

Since normalization of diplomatic relations, Japan and the Republic of Korea have worked closely together to build a cooperative relationship in multiple fields including diplomacy, security, economy, industry, society and culture. This cooperation, based on a relationship of mutual trust cultivated over a period of time, is always focused on the future. Together, we will further develop our relations in accordance with the five values shared by the two countries, namely, democracy, peace, human rights, the rule of law, and freedom.

Due to sudden and rapid changes in regional circumstances, a new situation is about to emerge in Northeast Asia. We welcome new opportunities for further peace and stability as well as further development to Northeast Asia. We will seek peace and prosperity in Northeast Asia as well as the world in accordance with those five principle-based values.

June 15, 2018

NAKASONE Yasuhiro, Chairman, Nakasone Yasuhiro Peace Institute

LEE Hong Koo, Chairman, The Seoul Forum for International Affairs

(Provisional Translation)